

2026年3月期 第3四半期決算短信[IFRS](連結)

2026年2月3日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
 コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・CFO
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

上場取引所 東
 (氏名) 安藤 宏基
 (氏名) 矢野 崇
 TEL 03-3205-5111

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	586,555	0.7	58,375	△13.4	53,401	△11.7	55,998	△9.8	39,034	△10.4
2025年3月期第3四半期	582,277	6.1	67,445	△7.4	60,500	△11.8	62,056	△12.5	43,577	△11.2

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	135.11	134.20
2025年3月期第3四半期	145.33	144.40

当社は、2022年3月期より既存事業コア営業利益を開示しております。既存事業コア営業利益とは新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除した指標であります。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	969,333	535,465	496,661	51.2
2025年3月期	848,461	511,901	475,528	56.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 70.00
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2026年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	
通期	792,000	2.0	68,500	△18.0	60,500	△18.6	43,000	△21.8	148	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規一社 (社名)

、 除外一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- | | |
|-----------------------|-----|
| ① IFRSにより要求される会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	297,584,500 株	2025年3月期	302,584,500 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2026年3月期3Q	10,527,344 株	2025年3月期	8,749,072 株
------------	--------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	288,902,416 株	2025年3月期3Q	299,852,903 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比0.7%増の5,865億55百万円となりました。利益面では、既存事業コア営業利益（注1）は前年同期比13.4%減の583億75百万円、営業利益は前年同期比11.7%減の534億1百万円、税引前四半期利益は前年同期比9.8%減の559億98百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比10.4%減の390億34百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益では前年同期比1.4%増の5,903億25百万円、既存事業コア営業利益は前年同期比13.3%減の585億3百万円となりました。（注2）

当社グループは、2030年に向けた「中長期成長戦略2030」に基づき、ビジョンの実現と持続的成長に向け、成長戦略テーマである①既存事業のキャッシュ創出力強化、②EARTH FOOD CHALLENGE 2030、③新規事業の推進に取り組んでおります。

（注1）既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除したものであり、中長期成長戦略上2022年3月期以降積極的かつ継続的な先行投資を予定する新規事業にかかる損益を分離し、その成長投資の基盤となる既存事業の実質的な成長を測定することを目的に採用している指標であります。

（注2）2026年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

＜連結業績＞

（単位：百万円）

区分	2025年3月期	2026年3月期	対前年同期	
	自 2024年4月1日 至 2024年12月31日	自 2025年4月1日 至 2025年12月31日	金額	%
売上収益	582,277	586,555	4,278	0.7
既存事業コア営業利益	67,445	58,375	△9,069	△13.4
営業利益	60,500	53,401	△7,099	△11.7
税引前四半期利益	62,056	55,998	△6,057	△9.8
親会社の所有者に帰属する四半期利益	43,577	39,034	△4,542	△10.4

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントごとの業績を適切に反映させるため、グループ関連費用の配賦方法を変更しております。前第3四半期連結累計期間との比較に当たっては、変更後の算定方法により比較しております。

①日清食品

日清食品㈱の販売状況は、カップめん類、カップライス類が売上を伸ばし、前年同期比で増収となりました。カップめん類では、「カップヌードル」群が順調に推移し、特に2025年9月にリニューアルした「カップヌードル BIG シリーズ」が売上に貢献しました。カップライス類は、2025年9月発売の「祇園さゝ木監修 日清だし茶づけ」等の新製品が売上に大きく貢献し順調に推移しています。袋めん類では、主要ブランドである「チキンラーメン」、「出前一丁」、「日清焼そば」の売上が堅調に推移しています。利益面では、原材料価格や物流費の上昇等により減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比1.9%増の1,836億39百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比3.5%減の279億18百万円、営業利益は、前年同期比4.1%減の278億43百万円となりました。

②明星食品

明星食品(株)の販売状況は、カップめん類、袋めん類とも、前年同期比で増収となりました。暑さの長期化を見据えた「汁なし麺」のマーケティング戦略が奏功したほか、袋めんの「おいしさ、ボリューム、栄養、価格」のバランスがとれた主食となり得る点を訴求した価値提案が好調な売上につながりました。カップめん類では、「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズ、「明星 ぶぶか油そば」が引き続き好調に推移しました。袋めん類では、「明星 チャルメラ」シリーズが売上を伸ばしました。

利益面では、原材料価格や物流費の上昇等がありましたが、増収効果等により、前年同期比で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比6.3%増の362億66百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比16.6%増の32億44百万円、営業利益は、前年同期比16.0%増の33億11百万円となりました。

③低温・飲料事業

チルド事業は、「麺の達人」「スープの達人」等のラーメン群が引き続き好調に推移したほか、CVS（コンビニエンスストア）向け調理麺も貢献し、前年同期比で増収となりました。利益面では、原価率の上昇等によるコストアップがありましたが、増収効果により前年同期比で増益となりました。

冷凍事業は、「冷凍 日清中華」「冷凍 日清スパ王喫茶店」シリーズが引き続き好調に推移。また、2025年9月発売の「冷凍 今日はこってり」「冷凍 今日は旨辛」の貢献や、価格改定効果もあり、前年同期比で増収となりました。利益面では、原材料価格等のコストアップがありましたが、増収効果により前年同期比で増益となりました。

飲料事業は、2025年6月に実施した価格改定が定着しつつあるものの、睡眠ブームのピークアウトによる「ピルクルミラクルケア」シリーズの減収に加え、CVSでの売上が低調に推移し、また、秋の新製品「ピルクル免疫スタイル」「ピルクルエイジングライフ」の発売および「十勝のむよーグルト」のリニューアル実施が大きく期待したほど寄与せず、前年同期比で減収となりました。利益面では、関西工場増築及びライン増設に伴う減価償却費の増加や、マーケティング費用の増加等により、前年同期比で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比3.2%増の792億38百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比2.0%減の71億88百万円、営業利益は、前年同期比3.5%減の71億35百万円となりました。

④菓子事業

㈱湖池屋はリニューアルした「ピュアポテト」やコーン系ブランドが引き続き好調に推移したものの、北海道産馬鈴薯の不作や夏の高温による馬鈴薯品質の低下による歩留り悪化等により、前年同期比で増収減益となりました。日清シスコ㈱はマーケティング施策が奏功して、「ごろグラ」シリーズ等のシリアルや「ココナッツサブレ」シリーズが好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。ぼんち㈱は原料米の高騰を受けて価格改定を実施したものの、改定に伴う需要鈍化により、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比3.4%増の721億29百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比9.9%減の48億29百万円、営業利益は、前年同期比9.7%減の45億54百万円となりました。

⑤米州地域

米州地域全体では、引き続き新たな需要創造に向けた高付加価値商品の提案強化や導入推進に取り組んでいます。

ブラジルでは前連結会計年度に実施した価格改定に加え、「CUP NOODLES」の販売数量増加もあり売上は堅調に推移しております。また、米国の販売数量が第3四半期から増加に転じたものの、上期までの販売数量減少や拡販費の増加により、セグメント全体で減収となりました。

利益については、ブラジルでは増益となったものの、米国での減収により、セグメント全体で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比5.2%減の1,190億27百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比32.4%減の82億63百万円、営業利益は、前年同期比31.6%減の83億47百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比2.9%減の1,220億18百万円となり、コア営業利益は、前年同期比30.8%減の84億68百万円となりました。（注4）

⑥中国地域

中国地域においては、販売エリア拡大や中国版カップヌードル「合味道」ブランド及び高価格帯袋めんの販売拡大に取り組み、さらに冷凍食品や菓子などのマルチカテゴリー化、卸売ビジネスの拡大を進めています。中国大陸では、既存販売網の活性化に加え、内陸部への販路拡大が進んだことで、カップヌードル「合味道」ブランド群や袋めんの「出前一丁」ブランドを中心に販売が伸長しました。香港では、大湾区における「北上消費」が進む中、即席めんの消費は新製品を中心に堅調に推移しました。加えて、インバウンド旅行客の増加を背景に、ケータリング向け販売も伸長し、「出前一丁」をはじめとする袋めんの販売は引き続き好調を維持しました。その他地域においても、即席めんの販路拡大を背景に販売が伸長し、さらに前年度買収した韓国の菓子事業会社や豪州の冷凍食品会社も業績に寄与しました。

こうした状況の下、売上収益は増収となりました。利益については、増収により売上原価や販促コスト増加の影響を吸収したことに加え、前年同期に固定資産等の減損損失を計上した影響もあり、前年同期比で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比0.0%増の535億44百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比6.5%増の57億10百万円、営業利益は、前年同期比99.8%増の56億72百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比2.7%増の549億48百万円となり、コア営業利益は、前年同期比9.3%増の58億59百万円となりました。（注4）

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んだ「その他」の売上収益は、前年同期比0.9%増の427億9百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比28.8%減の65億65百万円、営業利益は、前年同期比29.9%減の64億25百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比0.6%減の420億84百万円となり、コア営業利益は、前年同期比31.4%減の63億32百万円となりました。（注4）

（注3）コア営業利益とは、営業利益から非経常損益としての「その他収支」を控除したものです。

（注4）2026年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,208億72百万円増加し、9,693億33百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に有形固定資産が591億90百万円、現金及び現金同等物が206億74百万円、営業債権及びその他の債権が202億19百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ973億8百万円増加し、4,338億67百万円となりました。これは主に非流動負債の社債及び借入金が295億14百万円、コマーシャル・ペーパーが280億円、流動負債の借入金が157億40百万円、営業債務及びその他の債務が107億62百万円増加したことによるものであります。

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ235億64百万円増加し、5,354億65百万円となりました。これは主にその他の資本の構成要素が254億64百万円増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の56.0%から51.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、937億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ206億74百万円の増加となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は555億66百万円（前年同期比164億16百万円の資金の増加）となりました。これは主に法人所得税の支払額が125億50百万円となった一方、税引前四半期利益が559億98百万円、減価償却費及び償却費が260億97百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は643億68百万円（前年同期比50億82百万円の資金の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が682億8百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は249億29百万円（前年同期比140億70百万円の資金の増加）となりました。これは主に自己株式の取得による支出が204億73百万円、配当金の支払額が203億31百万円となった一方、長期借入れによる収入が442億円、コマーシャル・ペーパーの純増減額が280億円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月10日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	73,036	93,710
営業債権及びその他の債権	115,072	135,291
棚卸資産	70,536	76,205
未収法人所得税	465	78
その他の金融資産	16,259	13,626
その他の流動資産	12,973	15,449
流動資産合計	288,343	334,363
非流動資産		
有形固定資産	351,790	410,981
のれん及び無形資産	19,245	20,111
投資不動産	7,392	8,042
持分法で会計処理されている投資	112,514	115,071
その他の金融資産	53,773	66,066
繰延税金資産	14,278	13,598
その他の非流動資産	1,122	1,098
非流動資産合計	560,118	634,970
資産合計	848,461	969,333

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	144,703	155,466
借入金	38,039	53,779
コマーシャル・ペーパー	—	28,000
引当金	—	141
未払法人所得税	5,667	7,326
その他の金融負債	4,528	4,370
その他の流動負債	26,655	26,261
流動負債合計	219,593	275,345
非流動負債		
社債及び借入金	77,520	107,035
その他の金融負債	16,007	22,654
退職給付に係る負債	5,425	5,572
引当金	341	209
繰延税金負債	14,892	18,853
その他の非流動負債	2,777	4,197
非流動負債合計	116,965	158,522
負債合計	336,559	433,867
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	39,662	39,768
自己株式	△31,049	△33,659
その他の資本の構成要素	59,899	85,364
利益剰余金	381,893	380,065
親会社の所有者に帰属する持分合計	475,528	496,661
非支配持分	36,372	38,804
資本合計	511,901	535,465
負債及び資本合計	848,461	969,333

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	582,277	586,555
売上原価	374,751	383,709
売上総利益	207,525	202,845
販売費及び一般管理費	153,314	157,638
持分法による投資利益	9,020	8,694
その他の収益	994	831
その他の費用	3,725	1,332
営業利益	60,500	53,401
金融収益	3,378	4,244
金融費用	1,821	1,647
税引前四半期利益	62,056	55,998
法人所得税費用	15,710	14,300
四半期利益	46,346	41,698
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	43,577	39,034
非支配持分	2,769	2,663
四半期利益	46,346	41,698
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	145.33	135.11
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	144.40	134.20

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	46,346	41,698
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	△1,970	8,391
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	1,877	△3,195
純損益に振り替えられることのない項目合計	△93	5,195
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	50	35
在外営業活動体の換算差額	△1,240	17,741
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	3,244	1,221
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,055	18,998
税引後その他の包括利益	1,961	24,193
四半期包括利益	48,308	65,891
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	44,214	61,862
非支配持分	4,093	4,029
四半期包括利益	48,308	65,891

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分							
その他の資本の構成要素							
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フローア・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2024年4月1日 残高	25,122	44,054	△11,341	2,869	21,802	39	29,609
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,565	50	△1,968
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△2,565	50	△1,968
自己株式の取得	—	△46	△31,672	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△16	46	△27	—	—	—
自己株式の消却	—	△135	20,668	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	116	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△4,167	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	15
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△4,250	△10,957	△27	—	—	15
2024年12月31日 残高	25,122	39,804	△22,299	2,841	19,237	89	27,655

親会社の所有者に帰属する持分						
その他の資本の構成要素						
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計
2024年4月1日 残高	11,249	65,570	369,779	493,185	41,824	535,010
四半期利益	—	—	43,577	43,577	2,769	46,346
その他の包括利益	5,121	637	—	637	1,324	1,961
四半期包括利益合計	5,121	637	43,577	44,214	4,093	48,308
自己株式の取得	—	—	—	△31,719	—	△31,719
自己株式の処分	—	△27	—	1	—	1
自己株式の消却	—	—	△20,533	—	—	—
配当金	—	—	△22,633	△22,633	△1,416	△24,049
株式に基づく報酬取引	—	—	—	116	—	116
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△4,167	△5,573	△9,740
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△1,814	△1,798	1,798	—	—	—
その他の増減	—	—	9	9	△8	0
所有者との取引額合計	△1,814	△1,826	△41,358	△58,392	△6,998	△65,390
2024年12月31日 残高	14,557	64,381	371,998	479,007	38,920	517,927

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分							
その他の資本の構成要素							
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2025年4月1日 残高	25,122	39,662	△31,049	2,841	12,535	11	25,727
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	16,371	35	8,396
四半期包括利益合計	—	—	—	—	16,371	35	8,396
自己株式の取得	—	△25	△20,447	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	344	△160	—	—	—
自己株式の消却	—	—	17,493	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	162	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△31	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△409
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	105	△2,609	△160	—	—	△409
2025年12月31日 残高	25,122	39,768	△33,659	2,681	28,906	46	33,714

親会社の所有者に帰属する持分					
その他の資本の構成要素					
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計	非支配持分 合計
2025年4月1日 残高	18,784	59,899	381,893	475,528	36,372 511,901
四半期利益	—	—	39,034	39,034	2,663 41,698
その他の包括利益	△1,974	22,828	—	22,828	1,365 24,193
四半期包括利益合計	△1,974	22,828	39,034	61,862	4,029 65,891
自己株式の取得	—	—	—	△20,473	— △20,473
自己株式の処分	—	△160	△148	36	— 36
自己株式の消却	—	—	△17,493	—	—
配当金	—	—	△20,331	△20,331	△1,330 △21,661
株式に基づく報酬取引	—	—	—	162	— 162
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△31	△123 △155
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	3,205	2,796	△2,796	—	—
その他の増減	—	—	△92	△92	△143 △236
所有者との取引額合計	3,205	2,636	△40,862	△40,730	△1,597 △42,327
2025年12月31日 残高	20,015	85,364	380,065	496,661	38,804 535,465

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	62,056	55,998
減価償却費及び償却費	24,868	26,097
減損損失（又は戻入れ）	2,659	39
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△225	△53
金融収益及び金融費用	△1,330	△2,881
持分法による投資損益（△は益）	△9,020	△8,694
固定資産除売却損益（△は益）	147	163
棚卸資産の増減額（△は増加）	△11,790	△2,980
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△8,444	△16,298
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△3,667	11,463
その他	△4,575	△2,091
小計	50,677	60,761
利息及び配当金の受取額	7,379	9,346
利息の支払額	△1,800	△2,151
法人所得税の支払額	△18,369	△12,550
法人所得税の還付額	1,261	160
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,149	55,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,921	△8,189
定期預金の払戻による収入	7,293	13,206
有形固定資産の取得による支出	△52,967	△68,208
有形固定資産の売却による収入	238	79
無形資産の取得による支出	△588	△246
投資の取得による支出	△113	△1,376
投資の売却、償還による収入	82	366
有価証券の売却による収入	4,384	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△8,496	—
その他	△197	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,285	△64,368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	16,777	7,830
コマーシャル・ペーパーの純増減額	—	28,000
長期借入れによる収入	18,324	44,200
長期借入金の返済による支出	△4,687	△9,275
社債の発行による収入	49,829	—
自己株式の取得による支出	△31,719	△20,473
配当金の支払額	△22,633	△20,331
非支配株主への配当金の支払額	△1,416	△1,330
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△9,527	△155
その他	△4,088	△3,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,859	24,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,446	4,546
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△10,723	20,674
現金及び現金同等物の期首残高	96,659	73,036
現金及び現金同等物の四半期末残高	85,935	93,710

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

第1四半期連結会計期間において、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、グループ関連費用の配賦方法を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法により作成したものを開示しております。

当社グループは、持株会社制を採り、国内8事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業、低温・飲料事業、菓子事業を展開し、「日清食品」、「明星食品」、「低温・飲料事業」、「菓子事業」、「米州地域」、「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」、「明星食品」、「米州地域」、「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温・飲料事業」はチルド製品、冷凍製品及び飲料製品を製造販売し、「菓子事業」は菓子製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度において適用した会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期連結財務諸表計上額
	日清食品	明星食品	低温・飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	180,139	34,111	76,765	69,785	125,610	53,529	539,941	42,335	582,277	—	582,277
セグメント間の内部売上収益又は振替高	1,261	4,831	701	182	65	2,273	9,315	33,906	43,221	△43,221	—
計	181,401	38,942	77,467	69,967	125,675	55,802	549,256	76,242	625,498	△43,221	582,277
セグメント利益 (営業利益)	29,025	2,855	7,397	5,044	12,203	2,839	59,366	9,164	68,530	△8,030	60,500
金融収益											3,378
金融費用											1,821
税引前四半期利益											62,056
その他の項目											
減価償却費及び償却費	10,925	1,606	2,034	2,284	2,439	2,641	21,932	2,914	24,846	21	24,868
減損損失（非金融資産）	—	—	—	—	—	2,659	2,659	—	2,659	—	2,659
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	9,020	9,020	—	9,020
資本的支出	13,084	1,018	5,432	6,515	22,039	2,244	50,334	5,542	55,877	△0	55,877

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△8,030百万円には、セグメント間取引消去等△2,190百万円、グループ関連費用△5,839百万円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期連結財務諸表計上額
	日清食品	明星食品	低温・飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	183,639	36,266	79,238	72,129	119,027	53,544	543,845	42,709	586,555	—	586,555
セグメント間の内部売上収益又は振替高	1,147	4,744	659	105	43	2,314	9,015	46,151	55,167	△55,167	—
計	184,787	41,010	79,897	72,235	119,071	55,859	552,861	88,861	641,722	△55,167	586,555
セグメント利益 (営業利益)	27,843	3,311	7,135	4,554	8,347	5,672	56,866	6,425	63,292	△9,890	53,401
金融収益											4,244
金融費用											1,647
税引前四半期利益											55,998
その他の項目											
減価償却費及び償却費	11,490	1,399	2,167	2,308	2,796	2,385	22,548	3,528	26,077	20	26,097
減損損失（非金融資産）	—	—	38	—	—	—	38	0	39	—	39
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	8,694	8,694	—	8,694
資本的支出	16,262	1,575	4,733	8,260	25,852	2,532	59,216	16,646	75,862	△0	75,862

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△9,890百万円には、セグメント間取引消去等△2,813百万円、グループ関連費用△7,077百万円が含まれております。